

《専門教育科目 領域に関する専門的事項》

科目名	音楽表現（幼児と表現）				
担当者氏名	小谷 朋子、石岡 正通				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	(幼) - 領域及び保育内容の指導法に関する科目 (幼) - 領域に関する専門的事項 (保) - 保育の内容・方法に関する科目				

《授業の概要》

「うたうこと」は、教育実践において、子どもたちの個性を引き出す大きな力となるものです。いかにその個性を引き出し、大切にしながら子どもと関わっていくかということで、子どもとの心のつながり、いわゆる子どもが生きていくうえで必要不可欠な「関係性」が生まれてきます。また、歌によって、さまざまな音色や言葉を感じ、イメージをふくらますことができ、子どもの豊かな感性を育成することにも繋がります。これらのことをふまえ、多くの音楽作品と出会い、それら音楽的特徴を理解しながら、教育実践の場で、子どもがより音・音楽へ関心を持ち、楽しい音楽活動へ導けるように説明を交えながら歌唱指導を行います。

《授業の到達目標》

1. 音楽的な基礎知識を理解する。
2. 音楽的な基礎能力を高め、意欲的に課題に取り組む。
3. 自身の歌唱力と表現力を豊かにし、表現することができる。
4. 子どもたちの能力を引き出す環境構成や展開を考えることができる。

《参考図書》

適宜プリントを配付する。音楽授業改善のためのデジタルコンテンツ〔誰にもできるステップアップ教材〕わらべうた編 & コーラス編

《教科書》

適宜プリントを配付する。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：E13  
 担当形態：クラス分け  
 幼稚園教諭：必修  
 保育士：必修

《成績評価の方法》

歌唱試験60%、楽典小テスト20%、平常点20%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	子どもと音楽の出会い 「歌唱」の可能性	これまでの自身の経験等を通して、子どもの「歌唱」の可能性について考えましょう/簡単な発声法の復習【30分】
2	声の特性と発声法	地声や裏声など、声の特性を理解しましょう また自然な発声法を実践しましょう/自然な発声を意識した発声法の反復練習【20分】
3	歌唱の実践（1）	自然な発声法を習得し、簡単な練習曲を実践しましょう/練習曲の暗譜練習【30分】
4	歌唱の実践（2）	自然な発声法の定着を目指し、曲を通して実践しましょう/課題曲の練習【30分】
5	わらべうたの活用（1）	わらべうたを使った音遊びを実践しましょう/わらべうたを使った音遊びの実践練習【30分】
6	わらべうたの活用（2）	わらべうたを使った歌唱指導の展開を考え、発表しましょう/課題曲の復習練習【30分】
7	歌うことと聴き合うこと	カノン（輪唱）や合唱を用いた実践に取り組みましょう/発声や課題曲の復習【30分】
8	歌唱の実践（3）	自然な発声法を生かした様々な幼児歌曲等の実践に取り組みましょう/課題曲の練習【30分】
9	歌唱の実践（4）	自然な発声法を生かした様々な幼児歌曲等の実践に取り組みましょう/課題曲の練習【30分】
10	歌唱の実践（5）	曲に合った発声を工夫しながら歌曲等の実践に取り組みましょう/発声、課題曲の練習【30分】
11	歌唱の音楽表現（1）	正しい発声や発音に気をつけて、豊かな表情をもった歌唱を工夫しましょう/発声、課題曲の練習【30分】
12	音楽表現の発表	歌唱力、表現力の実践の成果を発表しましょう/これまでの課題の復習と自己評価【30分】
13	総括	歌唱実践の成果をもとに、自己評価をし、今後の実践につなげましょう/自己評価をもとにした歌唱指導の展望のまとめ【30分】
14	歌唱の音楽表現（2）	【課題研究】正しい発声や発音に気をつけて、豊かな表情をもった歌唱を工夫しましょう/発表時の歌曲の練習【90分】
15	歌唱の音楽表現（3）	【課題研究】表現力豊かな歌唱を目指して積極的に実践しましょう/表現の工夫、発表時の歌曲の練習【90分】